

令和2年度 文化庁委託

ビジネス日本語研究会の知財を活用した  
就労者に対する初任日本語教師のための研修開発事業

— 教育課程・シラバス・教材等の成果物—

令和3年3月

ビジネス日本語研究会

実施機関 令和2年5月28日—令和3年3月19日

## 1. カリキュラムについて

本事業では、就労日本語教育現場に特化して、現在、何が不足しているのかを再検討し、研究会の研究と実践から把握している、現実の企業と日本語教師、そして就労外国人との間の本来のニーズの「ずれ」を確認したうえで、文化庁より示された「就労者に対する日本語教師【初任】に求められる資質・能力」「就労者に対する日本語教師【初任】研修の教育課程編成の目安」と照らし合わせながら、「ずれ」をつなぐ教育内容が提供できる教育体制を理解した教師育成のための教育内容や教育方法(教材を含む)を決定した。

具体的教育内容は、文化庁より示された「就労者に対する日本語教師【初任】に求められる資質・能力」「就労者に対する日本語教師【初任】研修の教育課程編成の目安」に研究会幹事が開発した Can-do(その後、SJ 指導者 Can-do と精緻化され BPC：ビジネスプロセスコミュニケーションの HP に掲載されている)を可能な範囲で照らし合わせ埋め込んだ。

作成されたカリキュラムは以下となる。

研修日(土)	時間	講師	科目名	教育内容:「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改定版」準拠状況
1 10月17日	10:40-12:10	堀井	オリエンテーション 就労者に対する日本語教育	オリエンテーション、①人の移動とダイバーシティ ⑤就労者の多様性、言語背景、文化的背景、ニーズの多様性④就労のための日本語教育の多様性、就労に関わる日本語能力の要件
	13:00-14:30	西原	外国人の就労現場の現状・施策	②日本の外国人材受け入れ施策・就労に関わる在留資格 ③日本と海外の労働に関する制度の違い 雇用や社会保障に関する制度、メンタルヘルス
	14:40-16:10	奥田	就労者の異文化受容・適応	⑥職場におけるコミュニケーション分析：社会文化的背景と言語・非言語行動 ⑬職場コミュニケーションに関する言語間対照
2 10月24日	9:00-10:30	粟飯原	就労者の多様性、言語背景など	④就労のための日本語教育の多様性、就労に関わる日本語能力の要件⑤就労者の多様性、言語背景、文化的背景、ニーズの多様性
	10:40-12:10	品田	コースデザイン演習 業種・職種別ニーズ分析	⑩コースデザイン演習：ニーズ分析の手法(対職場関係者、対学習者)、目標設定、職種・職位・対象別日本語教育内容、職場・職位・対象別カリキュラム
	13:00-14:30			
	14:40-16:10			
3 10月31日	9:00-10:30	向山	コースデザイン演習・デザインの方法	⑩コースデザイン 教材作成
	10:40-12:10			
	13:00-14:30	村澤	就労者のための教材・リソース	⑩コースデザイン 教材作成 ⑭就労のための日本語教育教材・教具のリソース

		14:40-16:10			
4	11月7日	9:00-10:30	藤本	就労のためのeラーニング、ICT	⑭就労者のための教材リソースの通信、eラーニング、ICTツール(SNSなど)
		10:40-12:10		オンライン授業演習	
		13:00-14:30			
		14:40-16:10			
5	11月21日	9:00-10:30	栗原	キャリア支援・インターンシップ	⑦キャリア支援と日本語教育・インターンシップ ⑪各種指導法 キャリア形成のためのビジネス日本語教育などの目的別指導法
		10:40-12:00	近藤	異文化調整・ケース学習ワークショップ	⑧就労者の異文化受容・適応 異文化間トランス ⑮異文化調整力⑩各種指導法ケース学習 専門家以外に対する学習効果や日本語教育の必要性の説明
		13:00-14:30			
		14:40-16:10			
6	12月5日	9:00-10:30	浅海	職場におけるトラブル 日本人社員への教育・助言	⑨学習動機と就労現場における学習心理 職場におけるトラブル・就労準備、職場における学習者の成長と言語発達
		10:40-12:10	倉本	キャリア形成のための目的別指導法	⑪各種指導法 キャリア形成のためのビジネス日本語教育などの目的別指導方法
		13:00-14:30			
		14:40-16:10			
7	12月12日	9:00-10:30	堀井	各種指導法	⑪各種指導法 PBL
		10:40-12:10	高橋 堀井 奥田 栗原	各種指導法 実習	⑪各種指導法 就労準備、就労後の職場適応及び業務遂行のための日本語教育
		13:00-14:30			
		14:40-16:10			
8	12月19日	10:40-12:10	奥田	評価、フィードバック方法 自律学習、内省	⑫評価・報告 評価及びフィードバック方法(対職場関係者、対学習者)、分析的な振り返り、自律学習、経験の振り返りや議論などを通じた内省力の強化
		13:00-14:30			
		14:40-16:10	堀井	振り返りとまとめ: SJ とは	④就労者に対する日本語教育、ふりかえり

## 2. 教材について

本事業においては、研修をすべてオンライン（Zoom）で行った。  
学習支援システム Google classroom を用い、各科目の授業 1 週間前までに

- 1)事前課題(一部映像視聴)
- 2)配布資料（PDF）

をアップロード、受講生は授業 2 日前までに課題の回答を提出、配布資料をダウンロードして授業に臨んだ。講師は、事前課題回答をすべて確認し、そのフィードバックも含めながら、配布資料に基づき、授業を展開、授業中は、適宜、Zoom のブレイクアウトルームを用い、受講生同士のディスカッションやグループワークなどの活動をファシリテートした。

担当講師は授業後、

- 3)事後課題
- 4)確認クイズ

を提出、その回答を確認、必要に応じて、フィードバックを送った。  
確認クイズについては、正解をアップロードした。

本研修においては、この一連の作業、やり取りのすべてを「教材」と捉えている。  
ビジネス分野においては変化が激しく、これまでも基本的な枠組み、内容でまとめた教材を毎年更新しながら使用することが多かったが、特に、令和 2 年度はコロナ感染症拡大のためにこれまでのデータに変更を必要とする部分が多かったため、固定的な教材を使わないことが功を奏したと考える。また、すべてオンラインで行ったため、ペーパーレスにも貢献できた。オンラインによる研修は、仕事をしながら参加する、特に地方からの受講者にも大変好評であった。

研修は、開講式とオリエンテーションに始まり、8日間で16科目が展開された。ここでは、科目ごとの事前課題・配布資料・事後課題（確認クイズは割愛）を挙げ、報告する。

### 1) 開講式 実施日：2020年10月17日（土）10:30-10:40

オンライン上ではあったが、開講式を行い、代表あいさつ、受講生代表の一言の後、記念撮影も行った。



文化庁令和2年度 日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業

## ビジネス日本語研究会の知財を活用した 就労者に対する初任日本語教師のための 研修開発事業



# 開講式

2020.10.17.10:30-40

ビジネス日本語研究会文化庁委託「就労者に対する日本語教師」への掲載



## 開講式次第

進行：堀井恵子(事務局長)

1. ビジネス日本語研究会代表幹事よりご挨拶  
代表幹事 奥田純子
2. 受講生代表からひとこと

## 記念撮影

ビジネス日本語研究会文化庁委託「就労者に対する日本語教師」への掲載

2) 実施日：2020年10月17日（土）10:40-12:10

講師：堀井恵子

テーマ：オリエンテーション、就労者に対する日本語教育



## オリエンテーション



ビジネス日本語研究会代行委託「就労者に対する日本語教師」への掲載



**研修が始まりました！**  
楽しい、中身の濃いものとしましょう。

オンラインということもあり、  
困ったときには、ひとりでかかえないで  
遠慮なく相談してください。

仲間づくり

ビジネス日本語研究会代行委託「就労者に対する日本語教師」への掲載

## アジェンダ

1. 本事業のコンセプト
2. 研修の方法
3. 著作権について
4. Google classroomの活用について
5. 課題提出について
6. 修了要件
7. 講師・スタッフについて
8. スケジュール
9. 実習について
10. 仲間づくり：自己紹介

ビジネス日本語研究センター「就労者に対する日本語教師」への掲載



## 受講生23名の1分自己紹介/仲間づくり

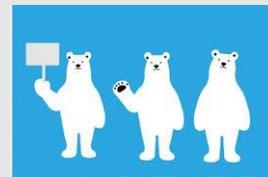


ちょっと人と  
違うところ

ご縁

受講生番号順

いつもは先生・  
この集まりから  
生まれるもの



ビジネス日本語研究センター「就労者に対する日本語教師」への掲載

オリエンテーションでは、研修のポイント、注意事項の共有とともに、不安なく研修を受講できるよう、また、受講生同志の仲間づくりが始まるよう支援をした。



# 就労者に対する 日本語教育

2020.10.17

堀井恵子

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への挑戦



## CONTENTS

1. SJとは？ SJを取り巻くデータとSJの課題
2. 技能実習生対象の日本語教育
3. よくありがちなSJ/BJの？
4. SJ/BJ教育の内容3本柱と教授法
5. 具体的教育内容とアクティブラーニング→実習
6. まとめ

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への挑戦

### 事前課題：

就労者のための日本語教育が一般的な日本語教育と違うのはどんな点でしょうか。考えたことを200字以上にまとめて提出してください。

### 内容

この研修の始まりとして、研修のキーワードである「就労日本語」の範囲と課題について、事前課題回答（日本語を使っての即戦力、業務遂行力が必要、ゴールの明確さ、学習時間が少ない、など）を確認しながら、SJ教育の多様性、ありがちな誤解を挙げながらSJ

教育の3本柱と考えるビジネスコミュニケーション、異文化調整、問題解決能力についてとそれ等を育成するためのアクティブラーニングとタスク型学習について検討した。

事後課題：

- ①対象者、到達目標、リアルなリソースを設定した就労者のためのアクティブラーニングによるタスク例
- ②この授業で気づいたこと考えたこと

3) 実施日：2020年10月17日（土）13:00～14:30

講師：西原鈴子

テーマ：外国人の就労現場の現状・施策



---

## 外国人の就労現場の現状・施策

特定非営利活動法人日本語教育研究所  
西原鈴子

---

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への挑戦



### 概要

---

- (1) 在留外国人就労の現状
- (2) 外国人就労に関する法令・基準
- (3) 外国人就労者が直面する課題

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への挑戦

### 事前課題

過去3か月間にメディアで取り上げられた在留外国人材の就労に関する報道に関して、報道された日付、媒体の種類を明記したうえでコンテンツを400字以内にまとめて提出してください。

### 内容

最新の在留外国人就労の現状について、人数の推移、在留資格、国籍・地域別内訳のデータを確認、在留資格一覧と日本で就労する外国人のカテゴリー、受け入れの基本的考え方、事業所数の推移、そして新しい在留資格特定技能の導入による変化についての紹介があった。その後、外国人就労に関する法令・基準について、雇用管理に関する様々な法律に基づいて現状が述べられた。最後に、事前課題回答を挙げながら外国人就労者が直面する課題について述べ、活発な質疑応答が行われた。

### 事後課題

日本社会が外国人就労者受け入れを加速しようとしている現在、多文化共生社会実現のために改革しなければならないことはどのようなことでしょうか。自分の考えを800字以内で簡潔にまとめなさい。研修終了後にご記入ください。

#### 4) 実施日：2020年10月17日（土）14:40～16:10

講師： 奥田純子

テーマ：就労者の異文化受容・適応



## オンライン講座 就労者の異文化受容・適応

奥田純子(コミュニカ学院)

2020年10月17日(土) 14:40～16:10

okuda@communicate-institute.org



## 本講座の目標

1. 異文化接触のメカニズムを理解し、異文化受容・適応の諸相を理解する。
2. 就労者が抱える異文化受容・適応上の問題・困難とは何を理解する。
3. 建設的な異文化受容・適応の観点から、日本語教師が留意する必要がある基礎的知識を確認する。

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への掲載



## 本講座の内容

- 異文化受容・適応への理解
  1. 異文化接触のメカニズム
  2. 異文化受容態度
  3. 異文化適応
  4. 就労者の直面する困難・問題の諸相
- サポートのために
  - 文化とコミュニケーション
  - 異文化コーチング

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への掲載

### 事前課題

日本語教師が、就労者の異文化受容・適応について学ぶ意味・意義について、あなたの考えを400字以内で述べてください。

### 内容

異文化接触のメカニズムを、個人、集団、個人と集団に焦点を当てて理解してから、異文

化受容モデル、異文化受容態度について検討、就労者の異文化受容・適応上の困難・問題をマクロ、メゾ、マイクロレベルで検討、サポートのために文化とコミュニケーションの捉え方を理解し、異文化コーチングについても触れた。

#### 事後課題

講座修了後、改めて、日本語教師が、就労者の異文化受容・適応について学ぶ意味・意義について、考えたことをまとめてください。事前課題における記述との整合性や異同は問いません。また、異文化受容・適応の観点を取り入れた就労者のための日本語教育として、どのような授業デザインが考えられるでしょうか。以上の2点を800字以内でまとめてください。

#### 5)実施日：2020年10月24日（土）9:00～10:30

講師：粟飯原志宣

テーマ：就労者の多様性・言語背景など



## 就労者の多様性・言語背景など

粟飯原 志宣

( )ベトナム国家大学ハノイ校日越大学

2020年10月24日（土）9:00～10:30



## 本講座の目的

1. 就労者の多様性(数値)
2. 就労者の多様性に耐えられる  
日本語教育の基礎理論
3. 就労者の日本語教育項目として優先されるべき項目

ビジネス日本語研究会 文化庁委託「就労者に対する日本語教師」への挑戦

### 事前課題

本研修のテーマについて、皆さんはどんなイメージがありますか。下記の質問1～3に、あまり時間をかけずに答えてみましょう。次に、質問4はよく考えて、書いてください。

1. 日本に住む外国人就労者のうち、多いのはどこの国籍でしょうか。第3位まで感覚で答えてください。
2. 日本に住む外国人就労者のうち、多いのはどの業種でしょうか。感覚で答えてください。
3. 日本に住む外国人就労者うち、もっとも日本語教育が行なわれている業種はどの業種だと思いますか。感覚で答えてください。
4. 外国人就労者が日本社会で使う日本語はどのような日本語だと思いますか。よく考えて、500字にまとめてください。

### 内容

まず、就労者の多様性を、総務省統計局の労働力調査（基本集計）から産業別就業者数、業種数、従業上の地位・雇用形態別内訳から数値で比較、職位・職責・業務について理解してから外国人労働者数とその推移を確認、外国人労働者の産業別数、賃金などを数値で見る。次に、就労者の多様性に耐えられる日本語教育の基礎理論を紹介、研究成果から見られる就労者に対する日本語項目として優先される項目について述べた。

### 事後課題

日本に住む多様化する外国人就労者の使う日本語は、アフターコロナを前提とした社会の中で、5年後、10年後、どのように変化していくと思いますか。皆さんの考えを500字でまとめてください。

6)実施日：2020年10月24日（土）10:40～12:10／13:00～14:30／14:40～16:10

講師：品田潤子

テーマ：コースデザイン演習 業種・職種別ニーズ分析



# コースデザイン

## 業種・職種別ニーズ分析

品田潤子  
ビジネスプロセスコミュニケーション研修サービス代表  
国際日本語普及協会教師会員

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への挑戦



### 本日の流れ

- コースデザインの「捉えなおし」から「実践へ」
  1. 対象
  2. 範囲
  3. 内容抽出（目標設定）
    - 事例 ・初期の技能実習生
    - ・製造業の営業担当者
    - ・就職支援
  4. 方法

ニーズ分析

目標設定

方法の開発

## 事前課題

以下の1)、2)について簡潔に書いてください。(箇条書き可)

- 1)「コースデザイン」について既に知っていることは何ですか。
- 2)「コースデザイン」について既に経験していることは何ですか。
- 3)「就労者に対する日本語教育」(SJ)の「コースデザイン」について知りたいことは何ですか。

## 内容

まず、「就労者に対する日本語教育」(SJ)における「コースデザインとは何か」を考える、として、就労者に対する日本語教育の対象の全体像を挙げ、CEFRを対照しながら、言語依存性と職務の関係(どのレベルでは何ができるか)について述べた。次に、就労者に対する日本語教育のコース開発、運営上の諸問題を挙げ、日本人側・企業側でできることを実現するためのコンサルティングの必要性について述べた。また、企業を理解しながら日本語教育の基礎を基に、リソースを活用して教科書に頼らないコースデザインが重要であること、そのためにニーズ調査から学習者の行動目標を挙げ、タスクデザインへつなぎコミュニケーション力の向上を図る提案をしている。職表能力評価基準(厚生労働省)をリソースとすることも挙げている。最後にまとめとして、①「コースデザイン」は「コース開発」と捉えなおす、②現場と日本語教育・研修を切り離さない、③学習目標は「行動」でたてる、④コミュニケーション力は現場に参加して身につけさせる、⑤自律学習、協働学習を推進する、⑥企業を巻き込む、⑦現場ごとに現実的に対応する、を挙げた。

## 事後課題

事前課題の質問3)《「就労者に対する日本語教育」の「コースデザイン」について知りたいこと》について以下の質問に答えてください。

- 1) 受講を通して必要な情報を得ることができましたか。
- 2) できた場合は、わかったことを記述してください。  
できなかった場合は、その理由を記述してください。
- 3) 業種・職種別ニーズを分析し、研修の目標を設定する方法を記述してください。

**7) 実施日：2020年10月31日(土) 9:00~10:30/10:40~12:10**

講師： 向山陽子

テーマ：コースデザイン演習 デザインの方法



第3日 1-2コマ目

# コースデザイン演習

## -デザインの方法-

向山陽子(武蔵野大学)

2020年10月31日(土) 9:00~10:30 10:40~12:10

y\_mukou@musashino-u.ac.jp

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への支援



## 本講義の目標

### ◆コースデザインの方法の概要を理解する

<キーワード>

- ・目標・活動・評価の整合性
- ・バックワード・デザイン

### ◆コースデザインを体験する

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への支援

### 事前課題

コースデザインする時に考えなければならないのは、どんなことだと思いますか。今、皆さんが考えていることを書いてください。箇条書きで構いません。

どのような学習者を対象としたコースをデザインしたいと思っていますか。(活動のグループ分けの参考にします。)

## 内容

コースデザインの定義について確認、ビジネス日本語コースデザイン例を挙げながら、バックワード・デザインが重要であることを述べた。また、上級レベルのロールプレイで学ぶビジネス日本語の教材を挙げ、教材と第二言語習得理論の関係から真正性、文脈を切り離さず使用の中で学習する、などについて述べた。次に、中級レベルのロールプレイで学ぶビジネス日本語、初中級レベルのロールプレイで学ぶビジネス日本語の教材を例に、語用論的気づきを促すタスク例を挙げた。最後にグループに分かれコースデザイン作成を行い共有をした。

## 事後課題

本日のコースデザイン演習の講義、実習を通して、学んだこと、疑問に思ったことなど、講義の振り返りを 800 字以内にまとめてください。

## 任意の事後課題

希望者は今日の演習で考えたコースデザインを基に（全く別のものでも構わない）、個人でコースをデザインして提出してください。この課題は任意なので、未提出の場合も研修の評価には影響しません。

**8)実施日：2020年10月31日（土）13:00～14:30／14:40～16:10**

講師：村澤慶昭

テーマ：就労者のための教材・リソース



第3日 3-4コマ目

# 就労者のための教材・リソース

10月31日（土）13:00-14:30/14:40-16:10

村澤 慶昭（武蔵野大学）



## 第3日 3-4コマ目 の内容

### ・3コマ目(13:00-14:30)

#### 0. 事前課題の振り返り

1. 「就労者」に求められる日本語のレベルとは
2. 「教材・リソース」をどのように選定するか

### ・4コマ目(14:40-16:10)

#### <ワーク>

- ・具体的に就労者を想定しての「教材・リソース」の選定、作成

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 就労日本語教師への研修

### 事前課題

1. 「就労者」と聞いてご自身がイメージする日本語のレベルについて、具体的に書いてください。① この研修を受ける前 ② 今までの講義を聴いて
2. これまでに「就労者」の日本語教育に関わった方は、そこで用いた「教材・リソース」について、具体的に教えてください。また、研修当日はお手元にご準備ください。（※ 未経験の方は、「なし」と入力してください。）

### 内容

事前課題を共有しながら、「就労者」に求められる日本語のレベルについて確認、また、これまでに使った教材について共有をし、教材・リソースの位置づけ、選定、利用方法、ICTと教材について述べた。2コマ目では、研修7)と同じグループに分かれ、ブレイクアウトルームで話し合い、就労者を想定、具体的な教材・リソースの一部を作成し、使い方まで想定、Padletで共有して、全体で議論した。

### 事後課題

本日の研修を終えて気づいた点等、得たこと、などを次の要領で提出してください。

1. PowerPointを使用
2. 1枚のスライドに、視覚的に瞬時に理解できるように“表現”してください。
3. ご所属やお名前、本時のタイトル、日時等、基本情報も忘れずに入れてください。
4. 画像等を使用する際は、著作権にも留意してください（適宜出所を明記）。
5. pdfファイルに変換して提出してください。
6. ファイル名：「事後課題3日目3-4コマ（名前）.pdf」

7. 提出期限：11月6日 23:59

8. 提出場所：この Google Classroom

9)実施日：2020年11月7日（土）9:00～10:30／10:40～12:10

講師： 藤本かおる

テーマ：就労者のためのeラーニング、ICT



## 4日目 1-2コマ 「就労者のためのeラーニング、 ICT」

11月7日 9:00-12:00  
藤本かおる(武蔵野大学)

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 就労日本語教師への挑戦



## 第4日 1-2コマ目の内容

0. 事前課題の振り返り
1. 遠隔教育とICT利用の歴史的な外観
2. ID(インストラクショナルデザイン)について
3. eラーニングの分類を知る
4. ICTの手法を知る

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 就労日本語教師への挑戦

## 事前課題

以下の動画を見て事前課題のクイズに教えてください。

「同期型システムでのコミュニケーションについて」

## 内容

事前課題の振り返りのあと、遠隔教育と ICT 利用の歴史的な外観を述べ、ID（インストラクショナルデザイン）について、基礎的理論、特にガニエの9教授事象に沿って考える。その後、eラーニングの分類(ブレンディッド、ハイブリット、ハイフレックスなど)を理解、ICTの手法として、反転授業。CSCLについて述べた。

## 事後確認クイズ

Q1 ID（インストラクショナルデザイン）の効率について、適切なものを1つ選んでください。

- ・学習者が効率よく学べるように教育者は時間と手間をかけて授業を作る。
- ・教育者の授業準備の効率のために利用する。
- ・学習者と教育者の両方の立場から、時間や労力をかけて授業を作る。
- ・学習者と教育者の両方の立場から、時間的にも物理的にも効率的に成果を求める。(正解)

Q2 IDの考え方として適切なものを1つ選んでください。

- ・1つのIDの考え方だけを取り入れる。
- ・目的に合わせ、手法を組み合わせることが効果的である。(正解)
- ・コース設計や授業構築にはガニエの9教授事象しか使えない。
- ・IDは奥が深いので、きちんと研究した人でないとコース設計などに使うことはできない。

Q3 ブレンディッドラーニングについて適切なものを1つ選んでください。

- ・ブレンディッドラーニングでは、絶対に対面授業を行わないとならない。
- ・対面と非同期と分けた場合、講師と学習者のコミュニケーションは対面だけで行う。
- ・様々なメディアを目的によって組み合わせるので、非同期でのコミュニケーションを行うこともある。(正解)
- ・ブレンディッドラーニングでは、同期より非同期の分量の方が多くなる。

10) 実施日：2020年11月7日(土) 13:00~14:30/14:40~16:10

講師：藤本かおる

テーマ：就労者のためのeラーニング、ICTワーク



## 4日目 3-4コマ 「就労者のためのeラーニング、 ICT」〈ワーク〉

11月7日 13:00-16:10  
藤本かおる(武蔵野大学)

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 就労日本語教師への挑戦



## 第4日 3-4コマ目の内容

1. ワークの目的と説明
2. グループワーク
3. ジグソー法による相互評価
4. グループによる見直し
5. 全体発表と講評、まとめ

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 就労日本語教師への挑戦

### 事前課題

動画を見て、確認クイズをしてください。

「非同期を利用して同期授業をよりアクティブに！」

### 内容

ワークの目的と説明の後、グループワークを行い、ジグソー法による相互評価、グループによる見直し、全体発表と講評、まとめの流れで、①ADDEIモデルのサイクルを参考にコ

ースデザインを行う ②ガニエの9教授事象を参考にコースのある1つの学習項目やクラスを取り上げどのような授業にするか、活動面も含めを具体的に考える ③他のグループとの相互コメントにより、計画を修正する、と活動を行った。

#### 事後課題

今日の授業について、新たに学んだことなどをまとめて書いてください。

各項目 300 字以内で、端的に書いてください。

\*研修の半分が終了したこの時点で、Zoom による懇親会を開催、受講生同士、講師との親睦を図った。

11)実施日：2020年11月21日(土) 9:00~10:30

講師： 栗原由加

テーマ：キャリア支援・インターンシップ



## キャリア支援・インターンシップ

神戸学院大学

グローバル・コミュニケーション学部

教授 栗原 由加

kurihara@gc.kobegakuin.ac.jp



## 構成

### 1. インターンシップとは

### 2. インターンシップを教育に取り入れるにあたって

問題1: インターンシップを実施するか、実施しないか

問題2: どのような準備と手続きが必要か

問題3: どのような事前教育、事後教育が必要か

問題4: インターンシップ中はどのようなサポートが必要か

問題5: 誰が何を評価するか

ビジネス日本語研究会 文化庁委託「就労者に対する日本語教師」への提言

### 事前課題

みなさまの現在の職場で、日本企業での就職を目指す学生のための日本語学習コースを新しく作ると仮定します。その中に 5 日間のインターンシップ（職場体験）を含めるという前提で、次の質問に箇条書きで答えてください。

1. どのような業種、職種でのインターンシップが適切ですか。(5つまで)
2. インターンシップを通じて学生が学べることは何だと思いますか。(5～8項目)
3. インターンシップで学生が失敗しそうなことは何だと思いますか。(5～8項目)
4. インターンシップ受け入れ先にとってのメリットは何だと思いますか。(5～8項目)
5. インターンシップ受け入れ先にとってのデメリットは何だと思いますか。(5～8項目)

### 内容

インターンシップの定義から始まり、インターンシップを教育に取り入れる具体的な準備と手続き、事前事後教育、トラブルを避ける、または、トラブル対応のための必要なサポート、評価方法について、実際の経験をもとに述べられた。

### 事後課題

#### インターンシップ実施計画

皆様が担当する日本語学習コースで、インターンシップを実施することになったと仮定します。行き先は一社です。その実施内容を考えて、以下の下線部分に記入してください。(記入スペースが足りないときは、適宜、調節してください。)

時期、日数	年 月 ( 日間 )
担当人数	教員： 名、 事務担当： 名
インターンシップ参加学生の人数	名
インターンシップ参加学生の国籍と人数	国籍： ( 名) 国籍： ( 名) 国籍： ( 名)
インターンシップ参加学生の日本語力	N 1 人、 N 2 人 N 3 人、 N 4 人
インターンシップ先企業名（1社）と業種	企業名： 業種：
インターンシップ後の採用の可能性の有無	有 / 無
仕事内容 (3~5つ)	・ ・ ・

<p>事前研修内容 (科目名と授業内容) (2～3 科目)</p>	<p>・科目名「 _____ 」 (内容： _____ )</p> <p>・科目名「 _____ 」 (内容： _____ )</p>
<p>事後研修内容 (科目名と授業内容) (2～3 科目)</p>	<p>・科目名「 _____ 」 (内容： _____ )</p> <p>・科目名「 _____ 」 (内容： _____ )</p> <p>・科目名「 _____ 」 (内容： _____ )</p>
<p>インターンシップ 評価項目 (3～5 項目)</p>	<p>・ _____</p> <p>・ _____</p> <p>・ _____</p>

12)実施日：2020年11月21日(土) 10:40～12:10／13:00～14:30／14:40～16:10

講師： 近藤彩

テーマ：異文化調整・ケース学習ワークショップ



## 5日目 2-4コマ

# 「異文化調整・ケース学習 ワークショップ」

近藤彩  
(麗澤大学)

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への掲載



## 研修内容

- (1) 職場における異文化調整とコミュニケーション
- (2) ケース学習の体験
- (3) ケース学習の振り返り
- (4) ケースライティング(入門)
- (5) まとめ



5

### 事前課題

1. あなたは異文化調整とはどういう者だと考えますか。
2. ケース学習について知識がありますか。 はい、いいえ
3. ケース教材を使って授業をしたことがあれば、ケースの内容、対象者などについて書いてください。
4. ケース学習の長所は何だと思えますか。

## 内容

職場における異文化調整とコミュニケーションについて、日本人社員へのヒアリングや外国人ビジネス関係者の声を消化、今、求められているのはゴールが就職ではなく職務遂行のプロセスで日本語を学ぶこととして、ビジネスコミュニケーション教育の必要性を述べ、慣習をしている NHK World を紹介、また、ケース学習についてその趣旨を説明、ケース学習体験を経て、振り返りを行った。また、ケース化までのプロセスについて紹介した。

## 事後課題

- 1.あなたが見た EJW（しごとのにほんご）の番号とキーフレーズを書いてください。
- 2.1を選んだ理由があれば簡単に書いてください。
- 3.番組を見て印象に残ったこと、学んだことを具体的に書いてください(会社の様子や仕事ぶり、ロールプレイ、日本事情他)（できれば学習コンテンツも見てみてください）
- 4.あなたが就労者向けの授業を担当することになった場合、この番組やコンテンツをどのように生かせると思いますか。また、あなた自身に生かせるようなことがあれば書いてください。
- 5.ケース学習の経験を振り返ってください。ケース教材、グループ討論、全体討論、ロールプレイなどについて学んだことなどを書いてください。
- 6.(希望者)ケース教材を書くことに関心のある人はタイトル(仮)と内容を書いてください。
- 7.講師へのメッセージ（あれば）

13)実施日：2020年12月5日（土）9:00～10:30

講師： 浅海一郎

テーマ：就労現場におけるトラブル・日本人社員に対する助言・研修



# 6日目1コマ 「就労現場におけるトラブル 日本人社員に対する助言・研修」

2020/12/5(土)9:00-10:30

浅海 一郎（内定ブリッジ株式会社）

# Presentation Contents

2

- 1 わたしたちの取り組みと政策動向
- 2 外国人雇用企業のことを知る（日本語研修）
- 3 外国人雇用企業のことを知る（日本人のストレス）
- 4 外国人雇用企業の支援について考える
- 5 質疑応答

ビジネス日本語研究会 文化庁委託「就労者に対する日本語教師」への挑戦

## 事前課題

- 1、あなたは、外国人雇用企業（の日本人管理職）との直接的な接点を、現在どの程度有していますか？（例：10社程度、全くない、直接的ではないが人材会社を通して数社程度等）
- 2、西原先生（1日目2コマ）からご説明のあった、2019年6月成立の日本語教育推進法について、日本企業はどの程度知っていると思いますか？（直感的に回答してください）  
全国的にはまだまだ認知されていないが、外国人雇用企業の多くは知っている  
外国人雇用企業のうち、大手企業の多くは知っているが、中小企業はあまり知らない  
規模の大小にかかわらず、ほとんどの外国人雇用企業が全く知らない
- 4、3で触れた助成金制度を有する都道府県について、その地域の企業からの申請は多いと思いますか？少ないと思いますか？（直感的に回答してください）  
圧倒的に多い（企業からの申請はとても多い）  
都道府県によるが、予算を使い切ったところもあるが、まだ消化していないところもある  
圧倒的に少ない（企業からの申請はほとんどない）
- 5、「自家用車及び自転車で通勤する場合は会社の許可を受けること」この日本語は、実際の企業で用いられている就業規則の一部です。これを、企業で働く外国人スタッフにもわかるよう「やさしい日本語」に変換してください（3分程度で取り組んでくだ

さい)。

## 内容

「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」に「職場等における効果的なコミュニケーションのため受入れ側の環境整備を図ることが重要である」とあるが、経済産業省、厚生労働省の側から企業支援を考える立場から作成した「外国人留学生の採用や入社後の活躍に向けたハンドブック ～実践企業に学ぶ12の秘訣～」から「外国人留学生の採用・活躍に向けたチェックリスト」を紹介、企業における日本語研修の実態(専門家でない人が日本語を教えている、一つの企業の中でも期待する日本語力が違う、など)、外国人雇用企業の支援について、日本人社員・企業への研修の必要性について述べている。

## 事後課題・確認クイズ

- 1、日本語教育推進法のうち、今年更新された基本方針の中に、(経産省を通して) どういう文言が追加されましたか？

職場等における効果的なコミュニケーションのため受入れ側の環境整備を図ることが必要である。

職場等における効果的なコミュニケーションのため外国人側への教育を拡充することが重要である。

職場等における効果的なコミュニケーションのため外国人側への情報提供を推進することが有効である。

- 2、広島市の調査によると、日本語研修を実施している市内企業において、その研修を担当しているのは誰ですか？

およそ半数が外部の日本語教育機関。およそ半数が自社の社員。

そのほとんどが自社の社員。

およそ半数が地域の大学または日本語ボランティア教室。およそ半数が自社の社員。

- 3、北陸地方のとある県の JITCO 所長によると、その地域で起きているトラブルには、  
どのようなものが多いですか？

日本人と日本人のけんか

外国人と外国人のけんか

日本人と外国人のけんか

- 4、企業が自社の外国人スタッフのため、就業規則や業務マニュアルを多言語整備する際に利用できる助成金制度を今年度有している自治体は、どこですか？

東京都と静岡県

北海道と山口県

徳島県と鹿児島県

秋田県と鳥取県

- 5、外国人雇用企業支援のうち、「外国人への日本語教育」以外について、ご自身が今後取り組んでいきたいこと（または現在積極的に取り組まれていること）を教えてください。 大きい目標から小さい目標まで、何でも大丈夫です。
- 6、そのほか、今日の講義に関するご感想やご意見などありましたらご自由にお書きください（メールアドレスなど、回答先を明記していただければ、ご質問にもお答えします）。

14)実施日：2020年12月5日（土）10:40～12:10／13:00～14:30／14:40～16:10

講師： 倉本文子氏

テーマ：キャリア形成のための目的別指導法



## キャリア形成のための 目的別指導法

2020年12月5日（土）2-4コマ担当  
倉本文子

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への挑戦



## 本日の内容

- 10:40-12:10 研修が目指す人材像  
研修を終えると、どんな人材になりますか。
- 13:00-14:30 研修運営のイメージ  
依頼が来たら、何をしますか。
- 14:40-16:10 課題を解決する授業  
学習者の課題を解決しましたか。

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への挑戦

### 事前課題

研修も終わりに近づいてきました。本講座では、これまで学んできたことを生かし、就労者向け研修を担当することになった時のことをイメージすることを目標とします。ご自身が担当する研修がある方は考え方や内容について改善したい点を具体的に思い描いてみてください。

- ①あなたが管理運営する就労者向け研修は、何を大切にしたいですか。どんな人材を目指しますか？
- ②その人材には、どんな力が必要になると考えますか。
- ③その力はどんな授業内容で育成できますか。

### 内容

研修のステークホルダーに研修のゴール像をわかりやすく共有できるようにすること、研修組み立て・見積もりなど研修運営ができるようになること、研修デザインの作成、研修成果の報告：業務コミュニケーション評価シートの作成、課題を明確化して解決する研修について、説明があった。

### 事後課題

- ①言語教育者として「学習者のキャリアにプラスになる支援」をご自身が担当する研修でどのように実現しますか。
- ②それを実現するために、ご自身には今どんな課題がありますか。
- ③その課題をどうやって解決しますか。

15)実施日：2020年12月12日（土）9:00-10:30

講師： 堀井恵子

テーマ：プロジェクト学習（PBL）によるBJ教育をやってみよう



# プロジェクト学習(PBL)による BJ 教育をやってみよう

2020.12.12

堀井恵子

ビジネス日本語研究センター「就労者に対する日本語教師」への掲載



## 1. なぜPBL

PBLについて聞いたことがありますか？

Project Based Learning



PBLをやったことがありますか？



ビジネス日本語研究センター「就労者に対する日本語教師」への掲載

### 事前課題

瀬尾匡輝(2010)「海外での Task-Based Language Teaching (TBLT)の試み ―社会人教育機関の初級クラスにおける実践―」WEB 版『日本語教育実践研究フォーラム報告』 2010年度日本語教育実践研究フォーラム pp.1-10 を読んで、気づいた点を挙げてください。

## 内容

就労/ビジネス日本語教育の三本柱として、日本語によるビジネスコミュニケーション、異文化調整能力、問題発見解決能力を挙げているが、それらを総合的に身につける方法の一つとしてプロジェクト型学習を紹介、上級における PBL, 中級における PBL の実践例を示し、学習者の振り返りからアクティブラーニングとしての PBL の効果を述べた。

## 事後課題

PBL によって育成できる能力についてまとめてください。また、自分が PBL を担当するとしたら、何が課題になるかについて述べてください。

(あわせて 600 字)

**16) 実施日：2020 年 12 月 12 日 (土) 10:40-12:10.13:00-16:10**

講師：堀井恵子・高橋桂子・奥田純子・栗原由加

テーマ：オリエンテーション、就労者に対する日本語教育



# SBJRB 実習

2020.12.12

高橋桂子・堀井恵子

奥田純子・栗原由加



## 実習の流れとポイント

### 実習の流れ

- ①順番にZoomによるオンライン実習を行う。持ち時間 15分。コメント5分。  
学習者(実習協力者)は8名。(担当の交代は**30秒で!**)
- ②担当でない時は他の実習をよく見て、気づいたことを **相互コメント** に書き込む。<https://classroom.google.com/u/0/w/MTI3NTU3ODUyNDY4/t/all>
- ③相互コメントには、よかった点、残念だった点をしっかり記入。  
ビターコメントは重要。
- ④担当以外は協力者をわかりやすくするため **ビデオオフ**

ビジネス日本語研究センター「就労者に対する日本語教師」への掲載

### 事前課題

実習のための教案提出。

### 内容

実習に関わる流れ、内容の詳細については別途後述する。

### 事後課題

相互コメントシートと講師コメントを参考に気づいたこと、考えたこと、学んだことなど、実習の振り返りをまとめてください。(600字以上)

**17)実施日：2020年12月19日(土) 10:40~12:10**

講師： 奥田純子氏

テーマ：評価・フィードバック



## 第8回10:40～12:10 評価・フィードバック

奥田純子

コミュニカ学院

okuda@communicate-institute.org

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への掲載



## メニュー

- ・評価とは
- ・さまざまな評価と評価のパラダイムシフト
- ・学習を支援する評価とバックワードデザイン
- ・代替的評価
- ・学習成果(結果)の評価とプロセスの評価
- ・パフォーマンス評価/オーセンティック評価
- ・ルーブリック
- ・「自律学習・内省」のためのポートフォリオ評価、自己評価：  
⇒次のセッションで紹介

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への掲載

18)実施日：2020年12月19日(土) 13:00～14:30

講師：奥田純子

テーマ：自律学習・内省



## 第8回13:00～14:30 自律学習・内省

奥田純子

コミュニカ学院

okuda@communica-institute.org

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への掲載



## メニュー

自律的に学ぶために必要な能力とは何か？  
どうすれば育成できるか？

- ポートフォリオ評価
- 自己主導型学習
- 言語学習アドバイジング

ビジネス日本語研究会 文化庁委託 「就労者に対する日本語教師」への掲載

### 事前課題（2科目合同課題）

12月12日に行った実習の授業内容に関して評価デザインをし、A4用紙1枚にまとめて提出してください。

### 内容

評価について、何のために、だれが、なにを、どうするかという視点から考え、評価のタイプについて紹介、評価のパラダイムシフトとして教授者中心の伝統的評価から学習者中

心の代替的評価への移行について述べた。また、コースのバックワード・デザインが重要であること、ゴールへの達成の判定、オーセンティックな評価、パフォーマンス評価、ルーブリック評価、ポートフォリオ評価についてそれぞれ開設した。

自律的に学ぶためのポートフォリオを紹介、また、自己主導型学習のための言語学習アドバイジングについて、必要なスキル、役割について述べた。

#### 事後課題（2科目合同課題）

オーセンティックなパフォーマンス課題（タスク）を設定し、ルーブリック・シートを作成してください。

19)実施日：2020年12月19日（土）14:40-16:10

講師：堀井恵子

テーマ：ふりかえり：SJとは



## SBJRBふりかえり：SJとは

2020.12.19

堀井恵子



## アジェンダ (学びの振り返り)

### 何を学んだか

1. **研修内容** (事前・事後課題を含む) から

2. **研修方法** から

オンライン研修: Google classroomなどの活用

3. **自身の** ふりかえり

オリエンテーション(10/17)時と今を比べて変容はありましたか？

情報

教育哲学

ビジネス日本語研究センター委託「就労者に対する日本語教師」への掲載

### 事前課題

研修全体を振り返って印象的だったこと、学びとなったことをまとめてください。600字

### 内容

研修の最後にあたり、事業のコンセプト、研修内容、実習、研修方法(オンライン)を振り返りながら、受講生一人一人の振り返りを全員で共有、今なぜ就労者のための日本語教育が必要なのかについて再度共有をし、修了要件、最終課題に触れ、著作権についての確認をした。

### 事後課題

研修事後アンケート

研修事後課題: 研修全体を振り返り、気づいたこと、学んだことについて「私の中で何が変わったか」のタイトルで800字以上

### 20)閉講式



文化庁令和2年度 日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業

## ビジネス日本語研究会の知財を活用した 就労者に対する初任日本語教師のための 研修開発事業



### 閉講式

2020.12.19 16:20-16:30

ビジネス日本語研究会文化庁委託「就労者に対する日本語教師」への情報



## 閉講式次第

進行：堀井恵子(事務局長)

1. ビジネス日本語研究会代表幹事よりご挨拶  
代表幹事 奥田純子
2. 修了書について  
\* 郵送先の確認 1月末到着予定
3. 受講生代表からひとこと

記念撮影

ビジネス日本語研究会文化庁委託「就労者に対する日本語教師」への情報



## SBJRB1期生グループの結成



- 勉強会
- ビジネス日本語研究会への参加・発表
- グループ幹事2名先着順？



ビジネス日本語研究会が委託「就労者に対する日本語教師」への掲載



### SBJRB 懇親会

12月19日(土)  
16:30～(1時間程度)

16:30 オープニング  
16:40 プレリアートルーム(自由選択)  
17:20 締め

途中入退室可  
お気軽にご参加ください。

SBJRB事務局

ビジネス日本語研究会が委託「就労者に対する日本語教師」への掲載

受講生全員参加で閉講式を行った。ハードな内容だったが、一人もかけずに最後まで続けられたことを確認。終了後、受講修了生グループを改めて結成、受講生主催の勉強会開催を受講生一致で決定、幹事が決まった。その後、オンラインで懇親会を行った。

(2021年3月26日(土)に本研修修了生による第1回勉強会が開催された。)